



議会だより

9月定例会号

平成30年10月26日発行

No.143

# こうみ

町のお金はどのように使われました	2
平成29年度決算審査意見書	4
9月議会 ー第3回定例会ー	
こんなことが決まりました	6
議案質疑	7
一般質問	8
民生文教常任委員会調査報告	17
編集後記	18

小海町で最初に発見された  
絶滅危惧種シナノアキギリ

きかせて みなさんの夢  
みなさんの未来に寄り添うまちに

# ように使われました 決算を認定

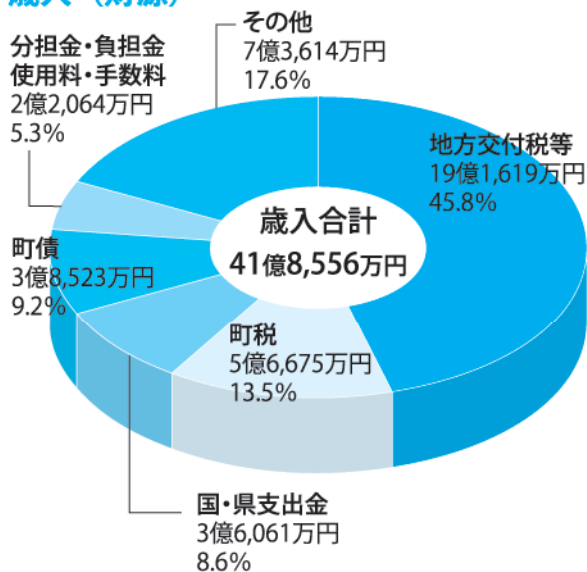
## ●平成29年度決算概要

一般会計の歳出は約39億4,783万円となり、28年度と比べて5億7,333万円12.7%減となりました。

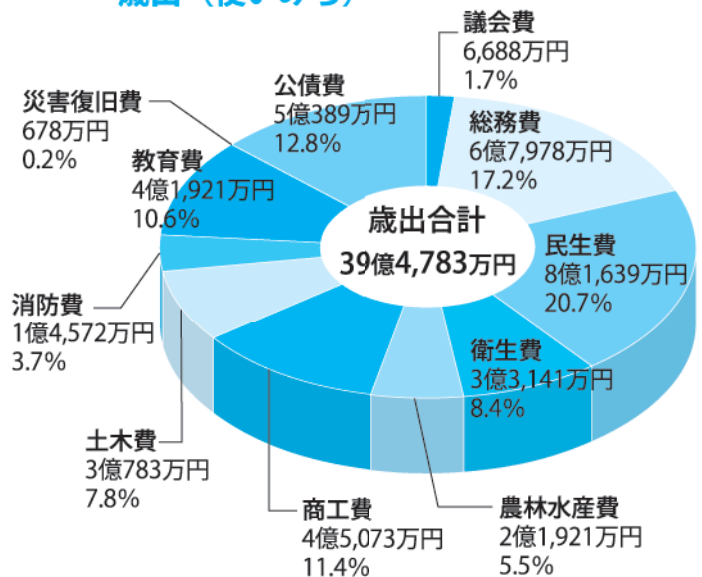
歳出の主なものは、特別養護老人ホーム美ノ輪荘移転改築に伴う助成と関連道路整備などです。

決算議会  
9月定例会

### 歳入（財源）



### 歳出（使いみち）



## わがや 小海町家の 家計簿

～小海町の平成29年度決算を  
500万円の家計に例えると～

### 収入

給与収入（町税）	68万円
一時的な手当 （譲与税、各種交付金、国・県支出金）	101万円
パート家賃収入 （分担金及び負担金、使用料及び手数料等）	26万円
預貯金の取り崩し（基金繰入金）	15万円
前年度からの繰越金（繰越金）	37万円
親からの援助（地方交付税）	207万円
住宅、車、生活資金のローン（町債）	46万円
<b>合計</b>	<b>500万円</b>

### 支出

食費（人件費）	67万円
医療費（扶助費）	25万円
光熱水費や生活消耗品など（物件費）	119万円
住宅の増改築や車の購入など（建設事業費）	60万円
住宅、車のローン返済（公債費）	64万円
子どもへの仕送り（他会計への繰出金等）	46万円
自治会費などへの支出（補助費等）	66万円
維持補修費他（災害復旧費他）	22万円
預貯金他（積立金他）	31万円
<b>合計</b>	<b>500万円</b>



# 平成29年度

# 町のお金はこの

## 平成29年度一般会計決算

歳入 41億8,556万円      歳出 39億4,783万円  
 差引額 2億3,773万円

### 〈一般会計〉 おもな使いみち

町民1人当たり  
833,755円

#### 総務費

- ・集落再生支援事業 2,847万円
- ・子育て世代住宅取得補助事業 1,390万円



#### 民生費

- ・臨時福祉給付金 1,360万円
- ・社会福祉総務費 (福祉医療他) 3,084万円
- ・美ノ輪荘移転改築事業補助 1億1,500万円

#### 衛生費

- ・健診・各種予防接種 2,624万円
- ・ごみ収集委託費 4,081万円
- ・町営バス購入費 2,669万円



#### 農林水産費

- ・中田川活用事業 4,855万円
- ・耕作条件改善事業 (川平上峰) 1,554万円



#### 商工費

- ・地域商業活性化事業 プレミア付Pマネー補助 1,050万円
- ・憩うまちこうみ事業 1,040万円
- ・観光交流拠点施設整備事業 9,442万円

#### 土木費

- ・道路維持修繕費 4,270万円
- ・道路改良舗装費 1億2,761万円



#### 消防費

- ・小型ポンプ積載車購入費 1,042万円
- ・消火栓ホース更新費 249万円



#### 教育費

- ・小海小学校修繕費 4,500万円
- ・公民館耐震工事費 1,939万円
- ・屋外ゲートボール場トイレ建設費 970万円

### 各会計 特別会計 決算額

国民健康保険  
事業特別会計  
歳入 6億9,621万円  
歳出 6億4,281万円

介護保険事業  
特別会計  
歳入 6億6,356万円  
歳出 6億6,257万円

中学校組合会計決算額  
歳入 1億2,322万円  
歳出 1億1,982万円

後期高齢者医療  
特別会計  
歳入 7,288万円  
歳出 7,285万円

水道事業会計  
(収益的収支)  
歳入 9,881万円  
歳出 9,205万円

南佐久環境衛生組合  
会計決算額  
歳入 11億4,234万円  
歳出 11億2,424万円

## ○財政指数等について

公債費比率は、交付税措置分を除いた元利償還金の標準財政規模に対する割合で、この比率は低下傾向である。

自主財源及び依存財源の割合、実質収支比率並びに実質公債費比率は健全化傾向であり、経常収支比率は前年度比0.5%低い80.6%となった。

常に効率的な行政運営や町の果たすべき役割を踏まえ持続可能な財政運営のため、行政・財政改革を着実に推進されたい。

## (2) 収入未済額解消について

全体的に収入未済額圧縮に努力されたことが伺える。しかし、負担の公平と財源確保の観点から、税、保険料・使用料等に収入未済額が発生することは極めて重要な問題である。

大口滞納者の多くは多重滞納者であり、これらを減らすことが収入未済額を減らすことにつながると考える。債務者や滞納者の生活実態、財産調査を的確に行い、計画的で適正な徴収に心掛け、収入未済額の圧縮に向けた適切な事務処理に努められたい。

## (3) 事務事業全般について

(ア) スケートセンター改修工事において、各種工事を3事業者に発注しオープン前の9月には工事が完了、請求書を受けたにも関わらず、総工事費32,000千円の支払いは30年2月・3月と大幅に遅延する事務処理が行われた。これは「支払遅延防止等に関する法律」第6条には工事代金は請求を受けてから40日以内に支払う事になっており事務の怠慢そのものである。

再発防止に向け対策を講じられたい。

(イ) 大田団地については、11区画が販売され、若者定住の目的をはたしつつある。残り8区画については、広報等の対策を検討し早期の完売に向け努力されたい。

(ウ) 集落再生支援事業については、7年間各地区が抱えている課題解決に向け一定の役割を果たして来たと評価できる。平成30年度も実施予定であるが、制度内容を見直し集落の活性化、特産品開発等への幅広い支援、町民全体への生活向上に資する事業になるよう検討されたい。

(エ) 子育て支援事業については、手厚い施策を実施している。引き続き支援制度のPR及び若者定住の推進に努められたい。また保育士全体については、代替も含め十分な確保をめざし、万全な保育に努められたい。

## (4) 施設の運営管理等について

(ア) 観光交流センター八峰の湯については、入場者数が前年度より減少したものの17万人の大台は確保し町民の保養施設、観光交流拠点施設としての重要な役割を果たしている。

今後、合理的な経営によって一層の収支改善に努めると共に、施設の改修計画、従業員の確保、地方公務員制度の一部改正などの諸課題について、十分検討の上対処されたい。

(イ) 松原湖高原スケートセンターについては、オリンピックの金メダリストを出したリンクとして、子供たちへの普及活動を行い、計画的な施設の維持管理に万全を期されたい。

(ウ) 小海町総合センターについては、現在生涯学習課が管理しているが、事務所はシルバー人材センターが使い、1階は保健センターとして運用し、町民の使用に対して管理が分かりづらいので管理方法について検討されたい。

## (5) その他

小海町議会議員研修について、監査委員あて投書があった件については、指摘された事実はなかったとの報告を議長から受けた。公人としての議員の日頃の言動及び行動には、町民に不審、誤解を抱かれないよう慎重を期されたい。議員各位には、一層研鑽を積み、議会活動に精励されたい。

# 平成29年度歳入歳出決算審査意見書

監査委員 篠原 利樹  
監査委員 篠原 伸男

## 1 審査の概要

### (1) 審査の期間

- ・ 実地審査 平成30年7月20日(金)
- ・ 書面審査 平成30年7月26日(木)、7月27日(金)

### (2) 審査の手続き

各会計歳入歳出決算書、歳入歳出決算事項別明細書、実質収支に関する調書及び財産に関する調書について、決算計数及び執行状況の確認・分析を行い、財政、資金運用、財産管理及び主要事業の各状況について、それぞれの関係諸帳簿及び証書類との照合並びに実地審査を行うとともに、担当係から決算についての説明を聴取し、併せて定期監査及び例月出納検査結果も考慮して実施した。

## 2 審査の結果

審査に付された一般会計及び特別会計の歳入歳出決算書、歳入歳出決算事項別明細書並びに実質収支に関する調書の計数はそれぞれの関係諸帳簿及び証書類と照合した結果、誤りのないものと認められた。

予算の執行に関しては、目的を適正に達成するため内部統制の基、迅速で誠実かつ確実な事務処理になお一層努力されたい。その内容は後述の意見・総括のとおりである。

## 3 意見

### (1) 総括的意見

#### ○歳入について

町税は、大きく増減した税目もあるが全体として増減はなく、地方消費税交付金は、対前年度比720千円（0.8%）増であった。

地方交付税は、対前年度比67,926千円（3.8%）減となり、この要因は、人口と単位費用の減により基準財政需要額54,542千円（2.5%）減が主なものである。交付税は国の財政状況等で大きく左右され安定した収入見込みが難しく、今後も予算計上は過大に見込まないよう留意されたい。

歳入全体としては、対前年度で644,064千円（13.3%）減となった。引き続き的確で適正な歳入の確保に努められたい。

#### ○歳出について

継続事業に加え、大田団地の分譲推進、特別養護老人ホーム美ノ輪荘移転改築に伴う助成と関連道路整備、公衆トイレの整備、支障木除去による景観整備、小海小学校の教育環境整備、若者定住促進や観光客の受入れ体制など、身近な生活環境の整備が実施された。

引続き総合戦略の目標達成に向け定住促進、子育て支援、町民が健康で豊かな暮らしができる支援等積極的に進められたい。



# 9月議会 第3回定例会で こんなことが決まりました

## 30年度一般会計補正予算（第2号）

全員賛成で可決

2億1,965万円を追加補正 総額38億9,740万円

### 【歳出の主なもの】

- 光ブロードバンド保守管理の追加計上 378万円
- 小海原畑かん改修の調査委託料の追加計上 1,200万円
- 道路維持費、各地区要望等に対応し追加計上 2,194万円
- 道路改良舗装、新田小海原線崩落復旧費の追加計上 5,555万円
- 積立金の追加計上 11,800万円

## 30年度国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）

全員賛成で可決

5,822万円を追加補正 総額6億1,722万円

## 30年度介護保険事業特別会計補正予算（第1号）

全員賛成で可決

258万円を減額補正 総額6億7,842万円

## 30年度後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）

全員賛成で可決

184万円を減額補正 総額7,463万円

## 30年度水道事業会計補正予算（第1号） 全員賛成で可決

### 資本的支出

931万円を追加補正 総額5,109万円

平成30年小海町議会第3回定例会が9月3日から9月25日までの23日間の会期で開催されました。条例改正案2件、補正予算案5件、決算認定5件、事件議決他2件の合計14件で審議が行われすべての案件が可決・認定されました。

一般質問は9名の議員により行われ、町の考えをただしました。

## 条例改正

◆小海町農産物加工直売施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例  
直売所の管理を指定管理者に行わせることができるように、条例の一部を改正するものです。

全員賛成で可決

### ◆小海町道路線の認定

使わなくなった芦平トンネルの路線を廃止するものです。

全員賛成で可決

◆小海町税条例の一部を改正する条例  
旅館業法の改正に伴い規定を整備するものです。

全員賛成で可決

◆小海町農産物加工直売施設指定管理者の指定  
小海町農産物加工直売所の会へ指定管理を指定するものです。

全員賛成で可決

## 選挙

◆小海町選挙管理委員会委員及び補充員の選挙  
指名推選により小海町選挙管理委員会委員4名、補充員4名が選出されました。

・選挙管理委員 中島春吉氏（本間川）

日向南雄氏（箕輪）

高橋直志氏（八那池）

佐藤道雄氏（宿渡）

嶋田護氏（本間下）

黒澤徳一氏（中村）

菊池悦子氏（馬流清水町）

新津千鶴子氏（土村旭町）

・補充員

任期 平成30年10月12日から

平成34年10月11日

# 議案質疑

## 【平成30年度一般会計補正予算 (第2号) 関係】

**Q** 社会福祉費に今回計上された新規事業の生活支援員は、生活保護の対象にならない人で支援が必要な人を支援するということだが、具体的にどのようなことをするのか。

**A** この事業については県の地域福祉総合助成事業で2分の1補助になるものです。対象となる方は生活保護の該当にはならず65歳未満で介護保険の支援も受けられないため体調を崩し困窮されている方を、ご近所の方に、手助けや見守りをしていただく。それから生活用品、お米など食糧費の補助を行います。

**Q** 保育所の早期保育を早めることにより、町外に働きに行く親たちが町内へ子供を預けていかれるような体制を作ることが子育て支援になるのではないかと、また人口流出防止あるいは人口増加に繋がって行くのではないかと一般質問でも訴えた経過があるが、現時点において7時半前に受け入れている人数の実態は。

**A** 現在毎日ではありませんが早朝の希望保育の申し出を取り希望があった時には7時から受け入れをしています。早朝7時から利用されている方が1名、7時20分から利用されている方が2名、合わせて3名の方が利用されておりです。

**Q** ごみの収集がご4基とあるが、具体的に何処に設置するのか。

**A** 4月以降要望があった地区で、土村南町の児童館付近1ヶ所、小海団地内に1ヶ所、栄町で卒道の下に1ヶ所、東馬流地区は、現在区の中に1ヶ所しかかごが設置してありませんので東馬流のもう1ヶ所となっております。

**Q** 小海原畑かん調査計画1、200万円計上されているが、どんな計画を考えているのか。新たに灌漑施設を設置するのか。

**A** JRそして国道141号、千曲川という難所を横断するというところで、その横断箇所の調査、耐震調査も含めた調査を行います。

**Q** 各地区道普請砕石費が大幅に増えているがその理由と、道普請砕石の申込み方法や納入方法は。

**A** 台風による道路の傷みなどが予想されるので今回増額をお願いしました。申込みは地区の道路委員から建設係の方に申込む事になっております。自分たちで汗をかいてやっていただけるところには希望地にダンブで配達するよう手配をしております。

## 【平成30年度水道事業会計補正予算 (第1号) 関係】

**Q** 松原湖高原別荘地内は老朽化も進んでいるが、別荘地全体を何年かにわたって計画的に実施していくのか。

**A** 現在修繕計画を策定中であり、今後町全体を含め、修繕計画に基づきまして実施してまいります。

## 【平成29年度一般会計決算関係】

**Q** 女性議会が昨年開催され、女性の政治参加をひろげるということで大事な取り組みだと思うが、今後の考えは。

**A** 女性の参加というのは大変重要であると考えております。町づくり座談会も女性の参加が少なく女性の方から意見を聞くことができず残念だった訳ですがなるべくそういった機会を設けるよう考えてまいりたいと思っております。

**Q** 通学路防犯カメラ設置工事の進捗状況は。

**A** 8月末に施工業者が決定し、16ヶ所19基のカメラを設置することが決まりました。工事期間がおおよそ2ヶ月程度で、当初10月には運用開始ということでしたが、1ヶ月程度遅れる可能性があります。



# 問 国保加入者以外にも人間ドックの補助を

答 町長 協会けんぽ等加入者への補助は可能



鷹野 弥洲年議員

**問** 糖尿病や高血圧・脂質異常などの生活習慣病からくる成人病の予防を図るため40歳以上の方に特定健診を行い異常の早期発見をし、保健指導などを行っている。

昨年度、国民健康保険加入者は526人が健診を受けられたが、国保以外の協会けんぽや健保組合・共済組合などの加入者の受診状況は把握しているのか。

**町民課長** 国保対象者は51%、協会けんぽの加入者は平成27年度60%の方が受診をしたが、共済組合や健保組合の方は把握できていない。

握できていない。

**問** 国保以外の健康保険加入者の被扶養者は会社などでは受けられない。同じ町民の健康管理という視点から放置できない。受診率の向上に向けた取り組みが大事だ。

特定健診が保険者毎の実施なので把握が難しいが、国保加入者は約半数しか受けていない。この実態と受診率の向上をどう図っていくのか。

**町民課長** 健診を受けていたように保健推進委員さんにお願いをしたり、小海分院

や診療所の通院者に受けるように指導をお願いしている。町民が健診を受けやすい体制を維持していきたい。

**問** 町の行う健診料金について国保加入者は自己負担1千円だが、他の保険加入者には町から補助がない。それぞれの保険者によって補助額は異なるが差額は町が補助をしても良いと思う。また特定健診を受けなくて人間ドックを受ける人には今年度から3万円の補助がある。補助のない協会けんぽなどの加入者にも補助をすべきではないか。

国保会計には町の一般会計から多額な繰入金を補てんしている。であれば国保加入者以外で、保険者からの補助のない協会けんぽなどの加入者に対しても町の一般会計から国保の補助に見合うように差額分を補助すべき

である。特定健診の補助も同様の考えで一般会計からの補助を行うことが、町民の不平等を是正することだ。

**町長** 町民が町で暮らす上で不公平があってはならない。協会けんぽ等のドックの補助は可能であると認識している。制度等を精査し前向きに取り組んでいく決意です。



毎年秋に行われる総合セット健診



# 問 活気ある町を目指し出産祝金の大幅増額と手厚い子育て支援を

**答 町長** 町民から小海に住んで良かったと言われるような支援策の充実を図りつつ柔軟な発想による対応策を検討します。



小池 捨吉 議員

## 防災について

**問** 大月川上流、稲子湯と新開の間で土砂崩壊がありました。下流は新開集落上部で2カ所橋があります。桁下が非常に低いため洪水で流木が橋に詰まると農地、住宅に甚大な被害が予想されます。河川に繁茂している樹木を撤去できないか。

**産業建設課長** 早急に流木が詰まるとかという危険性は無いように判断します。国有林の中なので東信森林管理署と協議している所です。

## 出産祝金増額と

### 祝金分割支給および

### 学校給食費無償に

**問** 人口減少を少しでも遅らせるため定住、転入の促進を図るとともに、子育て家族の支援を通じ、出産を促すため出産祝金の増額を提案します。現在子供1人出産につき30万円支給していますが第3子には50万円第4子以降の出産については80万から100万円位の支給を。

**町長** 第3子以降の増額の提

案がありました。出生率が年々下がり続けている状況で2人以上産んでいただけるとは大変ありがたいことだと思えます。町としても子育て応援の充実が必要と考えておりますので、来年度の予算に向けて検討していきたいと考えています。

**問** 現在出産祝金は一括支給ですが分割支給を。

**町長** 町民を信じて30万円支給したが、この町から出て行かないことを期待しつつ、そういういった意見があると言うことで研究検討をさせていただきます。

**問** 小学校及び中学校の給食費を無償にならないか。

**町長** 中学校組合総合教育会議等で小学校、中学校の来年度の給食費につきましては概ね現状の半額程度を軸に検討しております。

## 水力発電の

### 推進について

**問** 地球温暖化防止には二酸化炭素排出削減が急務です。化石燃料を使わない小水力発電事業支援と温暖化対策特別委員会の小林教授と面談しての町長としての見解は。

**町長** 民間主導の事業でも、事業の性質によっては、町が事業実施に向け協力するということはやぶさかではないが金銭的支援は厳しいと感じます。また温暖化対策特別委員会の小林教授が我が町を推薦していただいたことは謙虚に受け止め感謝しています。



新田小海原線 崩落現場

**問** 1. 地震にそなえて点検・調査・補助・支援は。  
2. 猛暑への対応は。エアコンの設置は。

**答** 1. 公共施設は2ヶ所、補助支援は町で鉄筋調査機を購入、町民に貸与。  
2. 給食・保健・図書・音楽・遊戯室に優先に。



古谷 恒晴議員

**ブロック塀の点検・補助は**

**問** 大阪北部地震で、施設物倒壊により小学生が死亡した事件をうけて、小海町の施設の点検・調査・補助・支援について町の対応は。

**総務課長** 点検は集落にあるブロック塀が150ヶ所、うち公共施設については、旧たかね保育園、旧北牧小学校に各1ヶ所。調査方法は、担当職員による目視で、町内にあるブロック塀については確認済みです。

公共施設の詳細については、

例えば鉄筋が入っているのかについては、今後調査を進めていかなければ判断できません。公共の施設については、町の担当者が調査します。

民間については、鉄筋検査機を町で購入して、町民に貸与したいと考えています。

補助金については、既存の住宅リフォーム補助事業や、空家解体撤去事業で、塀の改修撤去について補助対象にすることが早急に行えるか検討いたします。

**エアコンの設置は？**

**問** 今年の猛暑をうけて、公共施設へのエアコンの設置をどのように考えているか。

**町長** 小中学校については、安全な給食の提供と、調理員の健康維持のため給食調理室に、その他保健室、図書室、音楽室等に、保育所では給食室、遊戯室等に、来年のシーズンに間に合うように早期の予算化に向けて考えています。



北牧楽集館コンクリート塀



エアコン設置予定の小海小ランチルーム



# 問 地域にお金落ちる具体的で実践的な産業施策の推進を！

答 町長 長期振興計画に反映させ、31年度予算から実行する。



渡辺 均議員

**問** 中部横断自動車道の佐久穂インター開通は、町にお金が落ちる仕組みづくりの大きなチャンスだが、どのように取り組むのか。

**町長** 高速バスの発着点と複合的な観光施設の整備ができればと考えています。

**問** 農林業の活性化には、何を考えているか。

**町長** 国の農業次世代人材投資事業がメインとなります。2名と1組の夫婦が町内で農業に従事しております。町で

は就農支援としてビニールハウスや倉庫・資材などの補助をしています。蕎麦、鞍掛豆、ワサビ、ニンニクなどを奨励しています。

**問** 果物を農業振興に検討できないか。

**町長** 町で用意したチャレンジ支援金を活用したらどうかと考えています。

**問** 複合的な観光施設にフルーツパークのような取り組みはできないか。手始めに小諸のいちご園と連携、園が開発

した通常の半値でできるハウスを整備、農家に運営委託し新規就農者を受け入れては。

**町長** 誰がやるのか、担い手の掘り起こし、確認が先であると考えます。

**問** パロの閉鎖で、入居中の商店の今後が見えていない。駅前から馬流商店街の店も厳しい経営にある。地元の商店の後継をどのように図るのか。

**町長** パロのお店には継続をお願いし、力強い返事も頂いています。駅前商店街とのバランスなどを考え、できることはやっつけていきたいと思えます。

いるように、商業振興を図つたらどうか。

**町長** アルルは（県の商工会中央会の指導下）にあり、町の商工会が精査中でそのような形が可能かどうか、模索中でありませぬ。

**問** 集落主導型の地場産業として、小水力発電事業を提案したい。専門家からも収支は合うという見解を得ているが、町の考えは。

**町長** 発電事業は初期投資が大きく、ごみ処理などの手間もかかります。やろうという地区や団体があれば協力はやぶさかではありません。

**問** ショッピングセンターアルルを解散、施設は町が引き取り入居負担を低くし、改めて入居店舗を募集、応募の店舗で施設の運営を図る。運営者を指定管理者として、農業振興に直売加工所があり、直売の会に指定管理料を払って



小諸いちご園のビニールハウス

# 問 温暖化等による大規模災害や 松くい虫被害についての対策を

答 具体的、総合的に判断して対策を講じていく



井上 一郎議員

## 防災について

**問** 最近、過去に経験のないような自然災害が全国各地で起こっております。いざという時に備え、平時から町民に対して災害リスク情報の提供や避難行動について周知させることが大切かと思うが。

**産業建設課長** ハザードマップを各地区と全世帯に配布していますが、危険箇所等の町民の皆様の認識はまだ不十分だと判断しております。

**問** 年配の方の避難誘導が一

番問題かと思うが、それを含め各地区での対策は。

**産業建設課長** どこが危険でどこへ避難する、支援が必要な方は誰が支援に行くか、避難場所の設営は誰がするのか等、具体的に決めておくことが重要です。ハザードマップを参考にしながら、各地区の防災マップの作成に向け、その啓蒙と支援に取組んでいきたいと考えます。

**井上議員** 各地区で避難訓練を実施し、避難場所の周知や避難困難者の把握をして頂き

たいと思います。

## 松くい虫対策について

**問** 温暖化にともない標高の高い地域でも松くい虫の発生が危惧されるが、佐久管内での状況は。

**産業建設課長** 佐久地域の被害状況は平成29年度で5千㎡未満であり佐久穂町まで被害が生じていますが、小海町の被害は未だ確認されていません。

**問** 特産の松茸にも被害が及ぶことが危惧されているが、対策は。

**産業建設課長** 枯れた木を伐採して燻蒸又は破碎処理することが主ですが、恒久的な対策としては、農薬の散布が有効ではないかと考えます。

## 空家利用について

**問** 前町長にも質問させて頂いたことであるが、空家を町で整備し、イターン者や新規就農者の研修宿泊体験施設として活用できないか。

**町長** 具体的な物件について新規就農者等の研修宿泊施設として適当であるかどうかを調べさせて頂いた上で、所有者との交渉を進めていく等前向きに検討して参ります。



直売所の店頭に並ぶマツタケ



# 問 買物に、外出に、部活に 便利な町営バス運行を!!

**答 町長** 町の公共交通体系を見直すため、  
新たな組織を立ち上げます。



篠原 伸男 議員

**問** 現在、町営バスは小型・中型のみ運行ですが、今後この方針ですか。

**町長** 近年、利用者減、運転者の確保の難しさ等様々な問題があります。そこで従前通りだけでなく、利用者の利便性、効率性を勘案した交通体系を再構築する必要があると考えています。

**問** 朝夕は通学・通園・通勤等で平均8人から30人位利用しているが、日中は平均0人から5人の状況です。高齢社会が進む中、老若男女が使い

易いバスの運行を工夫すべきでないか。

**町長** 今後、バス運行についてはかなり改善が必要であると認識しています。利用者のニーズをどのような把握して、対応していくかを調査・研究してまいります。

10人乗りバスで、

町内巡行システムを

**問** 運転免許証自主返納者が増え、交通弱者は将来もつと増加します。そのような中でタクシー利用助成事業は町民

の利便性向上に大きな役割を果たしています。しかし、民間業者だけでは町民の需要に答えられないと思います。そこで、10人乗り位の町営バスを運行すべきと思いますが、いかがでしょうか。

**町長** 運転免許証自主返納が増えており、効率的に使えるバスの運行を鋭意研究していきたいと思っています。

**問** 日中の町営バスは買物で回るスーパーや人の交流する場に巡回したり、地区で複数の人が一緒に出掛けられるように、デマンド方式の運行はいかがでしょうか。

**町長** 買物・外出・交流に町営バスは欠かすことができないので鋭意検討します。

アウトソーシングの

町営バス運行を!!

**問** 町営バスは直営ばかりではなく、民間を活用したアウトソーシングも視野に入れる

べきではないか。

**町長** 佐久穂町は今言われた方式であり、大いに参考にし、小海町にあった交通体系を確立したいです。

**篠原議員** 町営バスは平日運行が主である。休日運行も視野に入れ、中高校生の部活や買物・外出についても対応できるシステムの確立で、町民の利便性向上を図ることを要望します。



中型・小型町営バス

# 問 小規模農家に対する保護育成について

答 町長 農地遊休化を防ぎ耕作継続できるよう様々な支援をする。



新津 孝徳議員

**問** 黒澤町長は常々「元気な町を作る」と言っています。この目標を達成するには町民全てが元気になるなければなりません。とりわけ町の基幹産業である農業が活性化されなければ山間地域は荒廃し、環境的にも見栄えが悪くなります。国の農業政策も大農家への支援は厚く大型農機も一括控除するといった優遇をしております。町でも農業組合や花卉部会に入っている農家には安定基金に対する助成をしております。このように組織に入っている農家では仲間としての連携もありますし、

意見を統一しての交渉もできません。私はこれらに属さない農家への支援、保護、育成を考えていかなければならないと思います。先般開かれまして町の農業振興審議会で報告がありました「丘わさび」を例にとりますと、栽培に取り組まれた半数の皆さんが苗代にも届きませんでした。農業改良普及センターの指導の下、遊休農地活用事業として進められてこられたことが挫折してしまわないか心配です。町で推奨する作物においては、初年度苗代を助成し小規模農家を応援したかどうか。

**町長** 小規模農家が新しく取り組む作物の普及が成功するよう助成についても検討し推進してまいります。

**問** 今、小海町でも「菊の栽培をしませんか」と呼びかけています。そして菊栽培を始めるのに665万円の経費が必要といった数字もあります。これは一つの例であり、農家をやめてしまった家庭、農業機械もある、空家もある。これらを利用すると先ほどの金額の2分の1、3分の1で新規就農ができると思います。昨今問題視されている年収200万円以下のフリーターやアルバイトの方々新たな仕事作りとして、「あなたも農業経営者になりませんか」といった希望を持ったキャッチフレーズで進

めたらどうでしょうか。

**町長** 集落再生、農地の荒廃化抑制、新規就農によるITタインの促進等活性化になると考えております。遊休農地、農業機械等々無駄にならぬよう新規就農者の皆さんへ有効的な提案ができるよう進めてまいります。



土村南町遊休農地



## 問 町民の防災の認識と意識を高める ハザードマップ作りを。

答 町長 我が町だったらということの認識が大変必要だと思います。



議員 美香子 的埜

**問** 小・中学校・保育園その他公共施設のエアコン設置は。

**教育長** 全教室となると相当の予算が必要になります。給食調理場、保健室、図書室、特別教室、音楽室、遊戯室にまず取りかかります。楽集館には図書室と交流室に入っています。会議室を利用される皆さんから一部屋ぐらいいはエアコンをといて意見もいただいております。ひまわり、あゆみ園は修繕費予算の優先順位の変更にエアコン設置が可能となりました。児童館はエアコンがなく、暑さをしの

ぐ部屋は必要と考えています。**問** ブロック塀の安全点検の結果、目視ではすぐに危険という所はなかったのか。

**総務課長** 全てが安全、だといふ意味ではなく、即危険と思われる物は目視ではありませんでした。今後、調査が必要ということになれば個人の持ち物ですので金属探知機をお貸しし、個人の責任においてやっていた、だきたいと考えます。

**的埜議員** 撤去、補強の費用

を住宅リフォーム助成制度の対象になるようにお願いしたい。

**問** 日本列島は災害が続いており、町でも改めて防災・減災対策をしっかりと見直し、災害に備えなくてはならないと思うが、各地の災害を見て、教訓になること、又、見直すところは出てきているか。

**町長** あらゆる災害を想定しておくのは至難の業、だと思えますが、職員、全町民が日頃から身近な危険を想定しておくことが災害対策の基本となるかと思えます。ボランティアの皆さんの活動が非常に有効であると考えております。防災マップ等々についても再度検討の余地があると思えます。

**問** 阪神淡路大震災以降、被災体験からコミュニケーション避難が有効で地域の力が大きいと言われてきた。現在、自主防災組織は実際に機能しているか。

**町長** 地域住民同士の連携による避難行動、災害弱者の情報把握、安否確認、早期救出、避難生活に必要な活動が地域の共同体として求められており、未組織の集落においては地域防災計画にあわせてお願いをしたいと思っております。

**問** 避難生活のストレスを防ぐための避難所の環境整備は。  
**町長** よく精査しまして検討考えたいと思えます。



台風24号により増水した千曲川

# 問 小さな命を殺さないことと、生かすことのできない命が生まれない環境を

答 町長 実態の把握をし、一步進めていきたいと思っています。



井出 薫 議員

## すてねこ対策について

**問** 野良猫にかかわる苦情や相談は後を絶ちません。問題の裏側には無責任な遺棄や餌やり問題がある。町のこれまでの対応と、猫屋敷といった問題に対する調査・対応は、

**町民課長** 役場では、猫の引取り等の依頼に関しては保護しに行ったり、窓口で預かることはせず、保健所をお願いしております。猫は完全室内飼育が可能です。餌をやる場合は責任を待たなければならぬことを広報してお

ります。猫屋敷の実態は把握しておりません。

**問** 猫は年に2回から4回妊娠。1回に4頭から8頭の子を生む。1頭のメスが1年後には20頭、2年後には80頭、3年後には2千頭以上まで増えるというのが現実だという資料がございます。完全室内飼育ができなければどんどん増えるというのが現実です。

## 動物の愛護及び

## 管理に関する法律から

**問** 一番の目的は、動物の虐

待及び遺棄の防止。動物を愛護する気風を招来し、生命の尊重、友愛及び平和の情操の涵養に資するとある。

広報活動、動物愛護週間、繁殖に対する適切な処置、犬猫等の引き取り、飼養を希望するものを募集、譲り渡すなど、市町村にうたわれています。小海町でも、動物愛護の法律にそった努力をしてもらいたいと思うが。

**町長** 飼っている皆さんのモラルに頼らざるを得ないと思うが、実態として放置しておくわけにもいかないと思います。猫屋敷というようなものも早急に調査し、対応も検討したい。



**井出議員** 佐久市では平成24年度から飼い猫を対象に去勢手術費の補助を開始し、平成27年度からは対象を飼い主のいない猫にも広げ、飼い主のいない猫の増加防止を図ってきています。ガバメントクラウドファンディング、市が施策の実行者として寄付金の使い道を示し、ふるさと納税を活用して資金調達。これを猫対策の資金にしています。「小さな命を殺さないことと、生かすことのできない命が生まれぬ環境」を民間の皆さんとも協力して一步進めていくことが必要だと思えます。



# 民生文教常任委員会調査報告

民生文教常任委員 古谷恒晴

民生文教常任委員会は、9月12日下記の5ヶ所について現地調査を実施しました。

## 1. 調査事件

- ・シナノアキギリ群生地(馬流清水町)
- ・シナノアキギリ群生地(松原湖周辺)
- ・サラサドウダンツツジ群生地
- ・高原美術館 リチャード・ホーア展
- ・小海なかよし児童館

## 2. 調査の結果

①小海町には天然記念物や希少植物が自生し、観光の一翼を担っています。昭和41年に長野県天然記念物に指定されたサラサドウダンツツジの群落は4、500本の樹々からなっております。また、松原湖周辺の植物は昭和7年長野県史跡名称天然記念物指定保護区域に指定されております。特にシナノアキギリは松原湖周辺で初めて発見され、名づけられたものとして牧野日本植物図鑑で紹介されております。これらは今後小海町の観光において大きな役割を果たすものであります。



松原湖周辺シナノアキギリ

つきましては、サラサドウダンツツジの群落の歩道の草刈り等による整備、そしてシナノアキギリ周辺の伐採材の除去による整備を要望します。

②小海なかよし児童館は小学校統合や職員の努力、また、ボランティアの皆さんの惜しみないお力添えで年々利用者が増えて、所狭しの感であります。



放課後たくさんの児童が集まる  
小海なかよし児童館

ます。児童・生徒の数は減少傾向ではありますが、放課後の児童達が安心して過ごす場所の確保は今後の町づくりには欠かすことができません。建物そのものはまだまだ十分使用できると思われますが、スペースの観点からこの児童館の再構築を検討されますよう要望します。

## 意見要望に対し回答

1. サラサドウダンツツジ歩道の整備につきましては、現在も文化財調査委員の皆さんのご協力を得て、時期を見計らいながら草刈は行っております。歩道の整備は傷み具合を見ながら随時実施してまいります。

2. 松原湖のシナノアキギリ群生地の伐採材の除去につきましては区が行った事業でございますので、区と協議しながら進めてまいります。

3. 児童館の再構築につきましては敷地の確保などの問題もありますので、長期振興計画に盛り込んだ中でご協議をいただきながら検討してまいります。

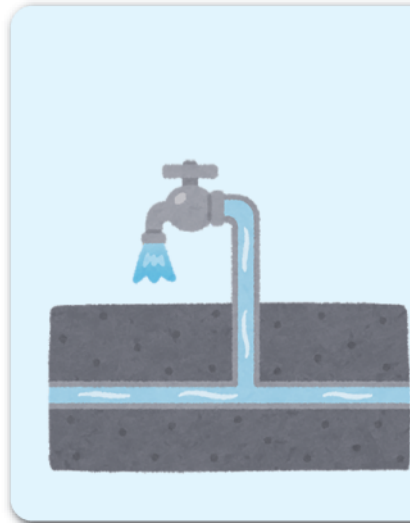
◇シナノアキギリ【絶滅危惧種】  
分 類… シソ科 アキギリ属  
開花時期… 8月～10月  
○大正11年(1922年)に、小  
山海太郎氏により松原湖湖畔で  
発見され、牧野富太郎氏により  
命名される。

## 予算決算常任委員会 からの要望

●水道管の敷設替えについては、計画的に更新されたい。

○町長

水道施設の更新計画については、現在、経営戦略を策定中であり、その中で、財政計画を考慮した更新計画ができる予定であり、計画に沿った中で、新材や新技術の導入、適正な企業債の借入れ等も考慮し、費用対効果を十分に検討し、適正な施設の更新を行い、安定した水の供給に努めてまいります。



# 議会を傍聴してみませんか

## 次回定例会は 12月開催予定です

議会ではどんな発言をしているのか、またどんなまちづくりを考えているのか、今後の町の方向性を直接聞くことができる良い機会です。ぜひ、お越し下さい。



車椅子をご利用の方は、議場内の専用スペースで傍聴することができます。



議会に関する事は町ホームページをご覧ください。定例会一般質問を音声により聞く事ができます。また、会議録もホームページへ掲載しておりますので、ご覧ください。

小海町議会

検索



詳しくは、**議会事務局**電話 0267-92-2525 (内線300・301) にお問い合わせください。

## 編集後記

決算議会といわれ  
ます9月定例会も  
全ての案件が可決さ  
れ無事終了致しまし  
た。

町民の皆様には議会だよりに目を通して頂き、ご意見ご感想をお聞かせ下さい。4月中旬頃の話なんですけど、私が馬流高根町の自宅から200m離れた里山を愛犬と散歩している時、カモシカ(特別天然記念物)の親子に出会いました。母親はグレーに黒毛が多い毛色、子供は白っぽいグレーでした。突然の出会いに双方がビックリし、30秒ほど見つめ合いその後カモシカは離れて行きました。私は自然界の生き物そしてその美しさに感動し、小海町の自然の豊かさを改めて確認した一日でした。

(編集委員 篠原 義従)

編集責任者 有坂 辰六  
編集委員長 的埜美香子  
編集委員 鷹野弥洲年  
編集委員 篠原 義従  
編集委員 井出 幸実